

2022 年度

京都教育大学附属桃山中学校

自己評価実施計画書

1. 本校の基本情報

(1)学校名	京都教育大学附属桃山中学校
(2)所在地	京都市伏見区桃山井伊掃部東町16
(3)学級数等	一般学級9学級(1学年3学級) 収容定員360人(1学級40人) 帰国生徒教育学級3学級(1学年1学級) 45人(1学級15人) ただし、第3学年は混合編成学級4学級で構成されている。
(4)児童生徒数	393人(男子201人・女子193人)
(5)教職員数	校長(併任)1, 副校長1, 主幹教諭1, 教諭22(うち任期付教諭5, 再雇用教諭2), 養護教諭1, 非常勤講師4, ALT2, 事務職員3(専任1, 事務補佐員2), 用務員1

2. 本校の教育目標

- (1)「豊かな感性をもち、周りとかかわりながら自己を伸ばす生徒の育成」
生徒一人ひとりの個性を尊重し、豊かな情操を培うとともに、社会や人との関わりの中で主体的に学ぶ生徒の育成をめざす。「豊かな感性、輝く個性、広がる共生」

3. 京都教育大学附属学校園の目的

教育の実験、実証並びに実習の機関として、本学に附属学校(幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校)を置く。(本学学則第56条)

本学附属学校は、児童、生徒又は幼児に対して、学校教育法に定めるところにより、教育又は保育を行なうとともに、本学における児童、生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究に協力し、本学の計画に従い、学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。(本学附属学校規程第2条)

4. 本校の学校教育計画(年度重点目標)

- (1) 目指すべきビジョン、ポリシーをもって、教育課程及び授業実践の研究を推進する。
- (2) 本学、附属学校園と連携、協働して、実践研究・教員養成を推進する。
- (3) 生徒にとって深く豊かに学び、仲間と共に人として成長できる学校教育の充実を図る。
- (4) 校内における危機管理の確立に努め、安心で安全な学校づくりを推進する。
- (5) 学校と生徒、保護者、地域との信頼関係が構築された学校づくりを推進する。

5. 附属学校園の機能向上に関する取組

- (1) 教育研究活動の成果を公表する。
- (2) 大学と附属学校園とが連携した研究を実施する。
- (3) 総合教育臨床センター学びサポート室と連携する。
- (4) 業務改善及び教職員の働き方に関する取組を推進する。

6. 本校の特色

本校は、平常の授業をより充実させ、確かな学ぶ力と豊かな人間性の育成を目指すとともに、「豊かな感性、輝く個性、広がる共生」を合い言葉に、21世紀のグローバル社会で主体的に協働的に課題解決を図ることのできる人づくりを目指している。また、一般学級とともに、西日本の国立大学附属中学校では唯一の帰国生徒教育学級を特設し、帰国生徒の個々の課題に応じた特別な指導や帰国生徒のグローバルキャリアを生かした全校的な国際教育を推進し、その成果を地域に発信することで、学校環境の内外において進行する国際化への対応に貢献している。多様な背景を持つ生徒たちが共に学ぶことで、お互いの違いを理解し尊重しながら、学びあい、高めあう、多文化共生につながる、寛容で優しい学校文化と風土が構築されています。隣接する附属幼稚園・附属桃山小学校とは、平成7年度より幼小中連携教育研究をおこなっている。令和元年度から「学びの共同体」と連携し、学習効果の向上を図るとともに、課題開発と発表において貢献している。さらに大学が主導する「グローバル人材育成のプログラム開発」にも附属学校園が連携して取組み、その実践研究の成果を全国に発信している。

2022 年度 学校評価 年間計画

学校名: 京都教育大学附属桃山中学校

時期	評価の検討と実施等	参考 2021 年度評価分
2022 年 3月		2021 年度学校自己評価実施, 学校評価結果及び改善策とりまとめ 学校だより, ホームページにて 2021 年度学校評価結果及び改善策概要等を保護者へ周知
4月	2022 年度学校運営方針, 重点教育目標等策定 2022 新入生意識調査実施 2022 年度学校評価計画を大学へ報告	
5月	2022 年度学校評価計画の学校 HP 掲載	保護者説明会 (PTA 総会) にて 2021 年度教育活動報告 2021 年度学校評価結果及び改善策を大学へ報告
6月	学校評議員候補者の確定	2021 年度学校評価結果の学校 HP 掲載
7月		
8月	第1回学校評議員会実施	
9月		
10月	学校説明会参加者アンケート実施	
11月	研究発表会参加者アンケート実施	
12月		
2023 年 1月		
2月	第2回学校評議員会実施 2022 学校評価アンケート実施	
3月	2022 年度学校自己評価実施, 学校評価結果及び改善策とりまとめ 学校だより, ホームページにて 2022 年度学校評価結果及び改善策概要等を保護者へ周知	
4月	保護者説明会 (PTA 総会) にて 2022 年度教育活動報告	
5月	2022 年度学校評価結果及び改善策を大学へ報告	
6月	2022 年度学校評価結果の学校 HP 掲載	

参考

2023 年 4 月

2023 年度学校運営方針, 重点教育目標等策定
2023 年度学校評価計画を大学へ報告

2022年度 京都教育大学附属桃山中学校 学校評価

自己評価区分	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

① 教育活動その他の学校運営に関する事項（学校教育法に基づく評価）

本年度の重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己評価区分	学校関係者評価	改善策
(1) 目指すべきビジョン、ポリシーをもって、教育課程及び授業実践の研究を推進する。	① 新学習指導要領をふまえながら、21世紀のグローバル社会に対応できる資質・能力の育成のために、「生徒が学び合い、生徒と学び合う」授業の開発を行う。 ② 大学教員、京都府・京都市教育委員会指導主事の指導助言を得ながら、研究発表会を開催し、その成果を発信する。				
(2) 本学、附属学校園と連携、協働して、実践研究・教員養成を推進する。	① 本校独自の帰国生徒教育や総合的な学習等の特色ある教育活動の充実と実践研究を行う。 ② 附属幼稚園、附属桃山小学校と連携し、幼小中連携教育研究の充実発展に取り組む。				
(3) 生徒にとって深く豊かに学び、仲間と共に人として成長できる学校教育の充実を図る。	① 質の高い、確かな学力を保障するために日々の授業づくり、学習規律、学習環境の充実、改善に取り組む。 ② お互いの人権が尊重され、自己肯定感、自尊感情が育まれる学級、学年、全校集団づくりを推進する。				
(4) 校内における危機管理	① 生徒の日常生活における行動や精神面での様子の掌握に努め、問題事象の未然防止を図る。また、				

<p>の確立に務め、安心して安全な学校づくりを推進する。</p>	<p>問題事象を確認した場合は、迅速に教員間で情報の共有を行い、一致した指導方針で解決を図る。</p> <p>② 学校安全計画に基づき、避難訓練等を計画的に実施すると共に、その他の突発的な事故に対応できるように、生徒指導方針及びマニュアル等の整備、改善を進める。</p>				
<p>(5) 学校と生徒、保護者、地域との信頼関係が構築された学校づくりを推進する。</p>	<p>① 生徒一人ひとりを尊重し、指導、支援を丁寧に確実に行うとともに、教員間の情報共有と指導の統一を心がけ、保護者との連絡、連携を密に行う。</p> <p>② 学校ホームページや学校便り、懇談会等で生徒、保護者、学校関係者への教育活動の内容について情報提供を行う。</p>				

2022年度 京都教育大学附属桃山中学校 学校評価

自己評価区分	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

② 附属学校園の機能向上に関する事項

本年度の 重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己 評価 区分	学校関係者評価	改善策
教育研究活動の成果を公表する。	<ul style="list-style-type: none"> 教育創生リージョナルセンター機構との共催，京都府・京都市教育委員会の後援，指導主事派遣により，研究発表会を開催する。 本教育大学協会研究集会等で発表する。 				
大学と附属学校園とが連携した研究を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 大学と附属学校園とが連携した同研究「教育研究改革・改善プロジェクト」に申請する。 				
総合教育臨床センター学びサポート室と連携する。	<ul style="list-style-type: none"> 総合教育臨床センター学びサポート室共同実践者を選出するなど，学校として協力できる方法を模索する。 				
業務改善及び教職員の働き方に関する取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 校務の効率化・情報化とともに，学校行事や教職員の役割分担を見直し，学校業務の適正化を図る。 「仕事の仕方改革」を進め，業務の優先順位を共通理解するとともに，業務のシェアを図る。 				